

## 史跡・万歩会の活動報告

◇史跡・万歩会 会長：千代和彦（昭40学精）  
副会長：萩野谷道雄（昭41学機）

### ◇第121回 史跡・万歩会『雷電の墓・顕彰碑及び臼井城址公園内の散策』

- ・実施日：平成30年11月7日(水) ・天候：晴れ
- ・参加人数：7名（会員6名・会友1名）
- ・コース：京成臼井駅（北口）⇒雷電の墓⇒雷電為右衛門の顕彰碑（妙覚寺）  
⇒實蔵院⇒太田図書（道灌の弟）⇒臼井城址公園⇒円応寺⇒  
印旛沼⇒京成臼井駅（解散）
- ・江戸時代の名力士、雷電為右衛門の墓が佐倉市臼井にあるのが不思議でしょうが、雷電の妻八重の生地で浄行寺に分骨されて妻と娘と共に葬られています。現在は浄行寺が無くなり農家の庭先に残っています。

臼井城址公園は千葉氏の配下臼井氏の居城で、印旛沼周辺の平地に忽然と生じる丘陵にある城で、戦国時代に北条氏と上杉氏の間で関東の覇権争いの中で、千葉氏と上杉配下の太田道灌との戦い（1479年）で落城しなかった名城です。その時戦死したのが太田図書（道灌の弟）です。天守広場から印旛沼を望む風景は素晴らしく景勝地になっている。また桜の名所でもある。



雷電為右衛門の顕彰碑の前にて